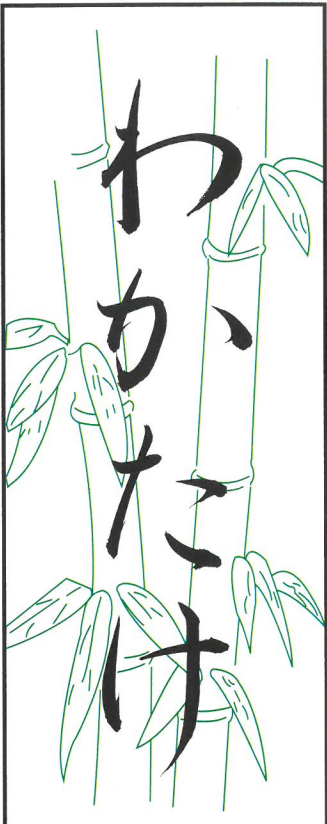


令和3年度 PTA総務委員メンバー 会員の皆様お世話になりました



代表地区副委員長 大森尚美	校外指導部長 青柳伸浩	事業部長 増田久美子	広報部長 倉橋綾江	副部長 星地博輝	副部長 高橋智恵	副部長 深澤多加子	副部長 渡邊智恵子	副部長 熊田亜江子	副部長 大関森弥	副部長 鶴田泰子	副部長 藤田幸伸	副部長 白田善一	副部長 山本理昌	副部長 佐藤真美	副部長 林田千	副部長 加藤岡	副部長 藤岡	副部長 櫻田	副部長 十河	副部長 植竹	副部長 河竹	副部長 夏広
------------------	----------------	---------------	--------------	-------------	-------------	--------------	--------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------



第117号

発行元 大田原中学校PTA
 発行者 PTA会長 植竹 広
 編集 PTA広報部
 生徒総数 587名
 PTA会員数 546名

PTA会長 植竹 広

日頃より大田原中学校PTA活動にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

令和3年度がスタートして、一年が過ぎようとしておりますが、新型コロナウイルス感染症による影響が現在も続いております。普段の生活にも馴れてきている今日この頃、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、冬季北京オリンピックが無事に閉幕し、多くの感動を頂きましたが、特に女子カーリングには学ぶことが多かったと思っております。予選リーグでは、我慢の展開から逆転勝利の連続で、予選リーグを突破。決勝トーナメントでは、前日に完敗したスイスを相手にまさかの勝利。彼女たちは、自分たちの戦うスタイルを軸に最後まで諦めず、その自分や仲間を信じて戦い抜いた結果が、決勝へと導いたのだと思います。そして勝利したイギリスとの頂上決戦。今回は思うような試合ができません。少し悔しい内容でしたが、銀メダルは大変素晴らしい誇らしい結果でした。

彼女たちの戦いを通して、最後の最後まで諦めず、我慢しチャンスを逃さず、勝利をもぎ取る姿勢は、これから羽ばたいていく子どもたちにとって生きる教科書ではないでしょうか。我慢の連続で成績が上がらなくても、周りの信じてやり続けること。保護者も子どもを信じてサポートし続けること。環境や社会の変化は今後も多々あると思いますが、「チーム家族」として、過ごすべくを大切に願います。

PTA広報部長 菊地 博江

令和3年度の本校は、①グローバル化された社会で主体的に生き抜くための英語教育の充実②豊かな心の育成を目指したボランティア活動の充実を教育活動の大きな柱として推進してきました。

「ローマは一日にして成らず」といいますが、本校は、これからの教育が丸となり、地域の宝である子供たちをともに支えたい、米えていく時代が永遠に続くよう質の高い教育活動に励んでいくことをお誓い申し上げます。

今後とも保護者や地域の皆様方におかれましては、本校の教育に御協力をお願い申し上げます。



大田原中学校校長 佐野 英 男

「チーム大田原中」ボランティアが 始動しました！

- 〈東武百貨店交差点〉
天谷 彩杰 さん
竹澤 弘美 さん
- 〈大田原中学校周辺の巡視〉
平野 由希子 さん
- 〈王冠ボウル交差点〉
大槻 睦美 さん
多田 きみ さん
- 〈赤堀橋〉
星 さと子 さん

「チーム大田原中」発足にあたって

チーム大田原中 星 さと子

私は人と接することが好きです。そして無類のおせっかいでもあります。ですから、我が子を送り出した後に通学路の一角に立ち、近所の子どもたちに声をかけられることが毎朝の日課になったのは、自然の成り行きでした。

この度、よりよい教育を目指し「チーム大田原中」が発足されました。そこでは、「学校・家庭・地域社会」が力を合わせ、分野を問わず様々なボランティア活動に取り組み、協力することで、子供たちをとりまく環境がよりよいものになることを願い立ち上がりました。現在は「学校安全ボランティア」として、主に朝の立哨指導や通学路等の巡視を行っています。今後、必要に応じて多種のボランティア活動へと広がっていく予定です。

さて、ボランティアという敬遠されがちですが、皆さんもできることから始めてみませんか？私には、自分が好きで続けてきたことが「チーム大田原中」と結びついたことを、心から光栄に思っています。

PTA広報部長 菊地 博江

陽春の候、皆さまがたにはますますご健勝のことと存じます。

例年通りにはいかないことも多い中、先生方や保護者の皆さまの御協力のもと、今年度も広報誌「わかたけ」第一一七号を発行することができました。一年間ありがとうございました。

PTA広報部員紹介

部長 菊地 博江
 副部長 星合 光輝
 大森 尚美
 迫田 尚美
 伊藤 尚美
 原 尚美
 船山 尚美
 岩城 尚美
 小林 尚美
 中村 尚美
 齋須 尚美
 深澤 尚美
 森谷 尚美

学年行事

1年生

体験型研修旅行



多くの学びを得た体験型研修旅行
一年 小出 紗愛

体験型研修旅行で私は、接客をしたことが印象に残っています。私が初めて接客を体験したとき、緊張していたため声が小さくなってしまいました。そのせいで、レジ袋は必要かどうかをお客様に尋ねるとき、ご心配の方であるそのお客様には、私の声が聞こえませんでした。しかし、スタッフの皆さんは、常にお客様の立場になって考えており、誰に対しても聞き取りやすい速さや大きさを話しかけていました。そのとき、お客様に分かりやすい話し方をするというところは、多くの方々によい思い出を作ってもらったために必要なことなのだと思いました。今回の研修を通して、接客の極意とはお客様の時間をより楽しむものにするための気遣いなのだと思ふことができました。

一年間を振り返って
一学年部長 藤田 善幸

子どもたちは期待・緊張・興奮を胸に大田原中学校の門をくぐり、大人への一歩を感じながら初日を迎えたのではないのでしょうか。近年、学校行事の中止が多くなり、子供たちから経験が奪われているのではないかと考える時期もありました。しかし、子供たちにとって今のコロナ禍の学校生活が経験であり時代であった順応性を育んでいくチャンスと捉えています。

校長先生をはじめ教職員の方々には感染リスクを抑えながら学業に専念させていただけるとお願いです。保護者の立場から今できることとして、社会情勢に合わせて活動する中学校生活を円滑にできるように温かく見守りたいと思います。

D-1グランプリ

D-1グランプリ!

PTA副会長 十河 千夏
美原公園陸上競技場で開催されたD-1グランプリ!メインスタンドから競技場全体が見渡せ、感動的でした。

競技では生徒一人ひとりが一生懸命取り組み最後まで全力で頑張る姿があり、競技をしていない生徒は一生懸命にチームを拍手で応援して、とても素晴らしい姿でした。また、チームカラーに身を包んだ担任の先生方を見つめるのも楽しかったです。

D-1グランプリ!生徒たちの頑張りに感動すると共に、先生方の指導にもとても感謝しています。新型コロナウイルスの対応で運営が大変な中開催していただき、改めて学校行事の一つ一つが子どもを成長に繋いでいるのだと実感しました。本当にありがとうございました。

D-1グランプリを終えて

三年 畠田 隼佑

例年とは違う形で実施されたD-1グランプリ。私はそこで白虎団の団長という役目を担うことができました。団長としてみんなをまとめていく中、うまく自分の思いが伝わらないときもありました。しかし、三年生だけでなく、一・二年生も、この行事がよい思い出となるよう一人ひとりが全力で挑みました。その結果、D-1グランプリをとてもよい形で終わらせることができました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催が難しく思われた中、生徒たちの想いを第一に考えてくださった先生方、忙しい中私たちのために時間を割ってくださった保護者の皆さま、本当にありがとうございました。



起翔祭

コロナ禍の起翔祭

PTA副会長 林 麻子

新型コロナウイルスが日本国内に流行し始めて早二年、色々な学校での授業や行事が影響を受けてきました。それに伴い、親として学校で日々成長し続ける子供たちの様子をみる機会である学校行事も、その多くがなくなってしまうのでは、と心配していました。

「起翔祭」もその一つです。合唱コンクールという目標に向かって、クラス一丸となって協力し努力してきた、その成果を発表する姿を直接見ることができないのは、親としてもとても残念でなりません。ただ、異常事態の中、無観客であっても発表の場をつくっていただけたこと、配慮はともありがたく思っております。

子供たちの中にも大きな経験として成長の糧になってくれていると思います。

努力と感謝

三年 渡邊 美樹

今年例年通りハーモニーホールで起翔祭ができたことを大変嬉しく思います。未曾有の感染症の混乱の中、起翔祭を開催するにあたり、先生方や実行委員のメンバーと打ち合わせを重ね、起翔祭をスムーズに行うことができました。今年のテーマは「こころ」想いをつなぐ、音楽の力。人との繋がりが制限されている中、音楽を通して人の心の繋がりを感じました。クラス合唱では、一曲に込めた思いがホール全体に響き渡り、それぞれの個性と努力が溢れ出ていました。また、吹奏楽部、合唱部の発表、美術部の看板から、それぞれの集大成という思いが感じられました。

この行事を通して、様々な人たちの協力があったことを感じました。ありがとうございました。



3年生

修学旅行



私たちの修学旅行
三年 薄田 佳歩

今年の修学旅行は、本来京都・大阪方面であったところから、北海道の函館方面へと変更になりました。感染症対策を徹底しながらではありましたが、生徒一人一人が楽しむことができました。

私の中で特に印象に残っているのは、函館山から眺めた夜景です。世界三大夜景の一つでもあり、その美しさに心を打たれました。他にも、登別熊牧場や五稜郭タワーなど、様々な場所に触れつつも、大切な仲間と過ごせた貴重な時間でした。

最後に、この修学旅行に携わってくださった全ての方々。私たちのために、素晴らしい思い出を計画していただき、本当にありがとうございました。

修学旅行
三学年部長 熊田 矢江子

今年度の修学旅行の実施は、コロナ禍という状況もあり、本人も私たち保護者も半分以上諦めていました。しかし、校長先生をはじめ、先生方や旅行会社の方々が行き先や日程を一生懸命考えてくださったおかげで実現することができました。当初は奈良・京都・大阪という予定でしたが、最終的には北海道へと行き先が決まりました。

半ば諦めかけていただけに、行けることが決まったことを知ったときは、本人たちも大変喜んでいました。そのときは、もう何日も前から旅行当日を心待ちにしており、ずっとそわそわしていました。そんな姿を見て私も嬉しかったのを覚えています。

当日の朝のうきうきしている様子もさることながら、帰ってきてからの皆さんの思い出話を聞きながら、話さずにはいられないくらい嬉しかったです。

2年生



この一年間を振り返って今、思うこと

一学年部長 関口 泰子

私は、二年間学年部長を務めさせていただきました。活動することができず、何も満足にしない短い学校生活の中で、沢山の友だちと悔しさ、そして達成感などを、子供たちにもっと体験してほしいと願っています。

しかし、そんな中でも、D-1グランプリや起翔祭、那須ハイランドパークでの職業体験などのいくつかが行事は実施でき、中でも職業体験では、お客様を相手にスタッフの業務を行うなど、楽しく働くことについて学ぶことができました。

中学校生活も残りあと一年。どんな一年となるのか、影ながら見守りたいと思います。

那須ハイランドパークでの体験型研修

一年 上田ダイキ

私が体験した研修場所は、レストランです。血洗いやゴミ捨て、清掃作業など、たくさんの仕事の体験をしました。仕事をやるまで、レストランでの仕事の大変さがよく分かりませんでした。興味のある仕事だったので、どんなことが大切なのかを知りたいとこの仕事を選びました。最終的には、責任をもつて最後まで仕事をやり終ることができ、実際に仕事をしてみても、最後まで仕事をやり終ることが大切だということに気づきました。

体験時間以外も、友だちと一緒に行動し、乗り物に乗ったりシャペンを買いだしたりしました。みんなとも仲良くなれたり、みんなと笑い合ったりすることができたので、本当に嬉しかったです。この日の思い出は、一生忘れられないものになりました。